

WURC NEWS Vol.49

編集:河内 章(主務)
矢代 貴昭(COX)

オフ期間

全日本新人選手権大会最終日(18日)の夕方に行われた全体ミーティングの終了をもって部は12日間にわたるオフ期間に入った。

オフ期間と雖も11月3日(火)に控えるエルゴ2000mT.T.に備え、トレーニングルームで汗を流す部員も多く、依然として早稲田艇庫が静まり返ることはない。明るい話題としては、今年故障に泣かされた野村(スポ2)が長時間のエルゴを行うなど、順調な回復ぶりをみせていることだ。今年の早慶戦では対校エイトの6番を務めた逸材だけに今冬を通しての完全復帰が待たれる。

又、先週21日(水)に早慶レガッタ運営委員会が開かれた。早慶両校のOB・学生マネージャー出席の下、来年第79回大会に向けての準備が始まり、開催日程も4月18日(日)に決まった。

次回全体集合日は31日(土)。まずは今年のリベンジを目標に新生漕艇部が船出の時を迎える。

アジア選手権大会開催

先月行われた第87回

全日本選手権大会女子舵手付きクォドルプル種目を制したことにより出漕権利を獲得した「第13回アジアボート選手権大会」が11月4日から8日迄の期間、台湾宜蘭縣冬山河ボートコースにて開催される。舵手無しクォドルプルでの出漕となるため、全日本選手権を制したクルーからCOXの市川(スポ1)が降りる。又3番を漕いでいた晦日(教2)が12月に行われる東アジア選手権大会への出漕に専念するため代わりに同期の篠田が2番に乗る体制となる。戸田とは異なる環境下でのレースとなるが、ストロークの渋谷とバウの谷井は今年7月にチェコで行われたU-23世界選手権で海外遠征試合を経験しており、気負いはない。

今大会へは下記部員の他、明治安田生命やNTT東日本ボート部で活躍する艇友も含めると計9名の早稲田関係者がアジア選手権に挑むことになる。日本の代表として是非悔いの無いレースをして来て欲しい。



S	渋谷 美子	前女子主将。対校クォド国内無敗のストロークが日の丸を背負い頂点を狙う。
3	宇佐美 亜季	怪我を乗り越え、今シーズン対校クォドルプルの座を死守した苦労人が初の海外に挑む。
2	篠田 成美	クルー内唯一の2年生も新人戦の活躍で実力は折紙付。自慢のパワーをアジアで披露する。
B	谷井 美恵	入部1年目から対校クォドルプルを支えてきた鉄人が競技生活の花道を飾る。

4人でメダル取りに行ってきます！
谷井のラストレースを笑顔で飾ります！

宇佐美 亜季(商4)

渋谷 美子(スポ4)

クルーを信じ、全心・全力を尽くして
頑張ります！ 目指すはメダルです！



初海外遠征！メダル取れるように頑張ります。

篠田 成美(スポ2)

谷井 美恵(スポ4)

メダル獲得！ボート人生ラストレース。
最高の思い出で終える！